

清水口まちづくり協議会 将来像候補

No	将来像	理由
1	人と人とのつながりが自然に広がる やさしい地域	日ごろのあいさつや声かけ、行事などを通して人と人とのつながりが生まれると、地域の中に安心感と親しみが育まれると思うからです。顔の見える関係が増えることで、見守りや助け合いもしやすくなり、だれにとっても暮らしやすい環境につながると考えます。
2	「守りと挑戦」	守りは、既存の方達が安心して住み続けられる町づくり。 挑戦は、新しい世代、人を呼びこめる魅力ある町づくり。 この両面を大切に考え、今住んでる方達にも、新しく住んでみようと思う方達にも、魅力ある町づくりを進めていきたいという思いから考えました。 具体的には、交通アクセスの改善や、子育て施設の充実、若者が集まれる場の確保、介護施設、病院など、老若男女が住みやすい町にしていきたいです。
3	Cool Street Shimizukuchi	地域の人たちが自宅にこもっている（他人とのふれあいが少ない）と人と人との繋がりは薄くなり、防犯意識の衰退・防災時の混乱が心配です。 そうしたなか、子供の通学時の見守りや、困った人たちに気軽に声を掛けて上げている方々の自然体で人々に接している姿がとてもかっこ良く（素晴らしい）見えます 小さなことかも知れませんがこのようなことが人と人との繋がりを強くすると思います。 自宅を出た場所に人に優しい方々が増えることを目指します。 また、若い人たちに魅力ある場所（若い方々に魅力ある商店等の誘致・集える場所の設置等）を目指したいという側面もあります
4	みらいに向けて安心安全で明るいまち	改善すべき（良くない）回答から10年先、20年先に向けて子供から大人まで安全対策が取られ安心して暮らせるまちづくりをしたい
5	自然とにぎわい気持ちよく安全に暮らせるまち	良い点、維持すべき点から環境の良さや自然の豊かさを保ち、夏祭りや駅前コンサートなど、にぎわい作りをして若い世代が住み続けたいなるまちづくり
6	「つながりが育む、にぎわいを育む、心安らぐみどりのまち」	・清水口のシンボルに、七次第一公園の芝生広場や夏まつりをあげる声があること ・景観、安全を推す声が多いこと ・景観の象徴は、芝生広場、緑道、など「みどり」を想起させるなどを、まちづくり協議会のコンセプトをあらわす語として「つながり」と絡めました。
7	「みんながつながり、笑顔でにぎわう、みどりのまち」	・清水口のシンボルに、七次第一公園の芝生広場や夏まつりをあげる声があること ・景観、安全を推す声が多いこと ・景観の象徴は、芝生広場、緑道、など「みどり」を想起させるなどを、まちづくり協議会のコンセプトをあらわす語として「つながり」と絡めました。
8	安心な暮らしと広がるつながり… この街で自分らしく生きていく	安心に暮らすことは「幸福」の基本だと思う。現代社会において私達は不安に囲まれている。災害だけではない。犯罪や事件、事故、病や怪我、加齢による不自由、いじめや人間関係、、、それらの不安から解き放たれて「安心な暮らし」が営める地域社会を作りたいと願う。 「つながり」でまず私が思い浮かべるのは、夏まつり。知っている顔・顔・顔・笑顔。でも、そういったイベントにとどまらない。路上、駅、公園、複合センター、学校、お店、、、つながりがあるから知り合いがいる。笑顔を交わせば嬉しくなる。家から表にでなくとも、誰かが「どうしてる？」と電話してくる。あるいは、「お元気？」と玄関にやってくる。「つらいんです」とメールすれば「どうしたの？」と返信が来る。誰もが誰かとつながっている社会は、きっと人を不幸にしない。そういう地域社会を創りたいと願う。 だけど、それだけじゃ人は幸せになれない。大事にしたいのは「自分らしく自分の人生を歩むこと」。それを認め合える社会こそ私たちの目指す地域だと思う。 「生きていく」というと少し大げさかもしれないが、「生きる」＝生活そのもの。住民として大切なWordだと思う。単に今を「生きる」のではなく、未来に向けての希望を込めて「生きていく」とした。

No	将来像	理由
9	住まう人の幸せな時（日々/日常/毎日）をともにつむぎ続けるまち ※住まう人の幸せな日常 住まう人の幸せな毎日 住まう人の幸せな日々 住まう人の幸せな時 どの言葉が一番心に響くのか、委員の皆さんのお知恵をいただきたい。	友達と楽しそうに登下校する子ども。目を輝かせて趣味の話をする活動仲間。食事のために品を選ぶ買い物客。ベンチで空を見上げる人。大変な仕事を片付けて家路を急ぐ人。そういった瞬間を想った。 誰もが、何かしら苦しいことや悲しいことを抱える「日常」だが、嬉しい事や楽しい事と合わせて、どの出来事も幸福な人生を織り上げるための意図ではないかと考える。日々を生きることは幸せ創りの意図を紡ぐ行為。それは、どんなに時代が変わっても普遍的なものであろう。 やりたいことを達成する幸せ、困りごとのない幸せ、受け入れてもらえる幸せ、美しい景観を楽しむ幸せ、誰かが傍らにいる幸せ、豊かな自然に触れる幸せ…。 其々が其々の幸せに向き合い時を重ねている、そんな住民に、ずっとずっと寄り添い続け 手を携えてともに糸を紡いでいくまちにしたい。
10	豊かな緑にかこまれた心安らぐまち	長年、犬の散歩や友とのウォーキングをしていますですが歩いていると木々や自然の移り変わりに心が穏やかになってくるので
11	いつまでも暮らしたいまち	40年以上住んでいて住みやすいまちだと思える
12	優しさと利便性の拠点 駅チカのまち	清水口地区のまちづくりを進めるというのは当然あるが、駅を擁する地区であり、比較的若い世代も多いので、市内の他の地区をサポートする優しさと利便性を、ここを拠点に広めていく地区でありたい
13	「青春」	読み方はアオハルとセイシュン 若い世代から大人までがつながる清水口小学校区まちづくり協議会を色と世代で分けて表現 アオハル＝若い世代がやりたいことややってみたいことをセイシュン＝大人が形にしていく 白いキャンパスに描いた夢や希望をみんなで叶えるっていうのを形にしてみました。
14	「緑と広い青空に囲まれたふるさと、安心のまち」	
15	自然とにぎわいが育む、安心な街	アンケートのキーワードにあった公園・池・白鳥(自然)やお祭りや学校行事など(文化、にぎわい)を通じて、人々の挨拶や対話が生まれ、対話による関わりが生まれ、関わりからたくさんのゆるいつながりが生まれているのを見かける。散歩してるとよく挨拶してくれるおばあさん、名前は知らないけど笑顔で挨拶。それをみている子どももなんとなく挨拶して、つながる。このゆるいつながりは、防災・防犯、子育て、子や高齢者の見守り、インクルーシブな住みやすい地域、安心を育てていく。 「街」としたのは、至るところにある人々のつながり(集まり)を表したかったから。」
16	「明るい挨拶が飛び交い思いやりの溢れるまち」	

No	将来像	理由
17	『誰もが安心して暮らし続けられるやさしい街』	・ この街では、生活に必要な施設が徒歩や短い距離での移動範囲に集まり、住民は無理なく外出できます。 ・ この街では、空き家や空き地を放置せず、地域の交流拠点や人が集まる「小さなにぎわい」が生まれる場所として再生しています。人と人とが集まることでコミュニティレベルが向上することにつながります。 ・ この街では、各世代が地域活動に参加し、高齢者も地域の活動や子どもたちの遊びや学びを支える役割を担っています。しかし、地域活動への参加が義務であるとは思っていません。年齢に関わらず様々な役割に自主的に参加する活力のある街で、若い世代も「この街なら安心して暮らせる」また、「安心して子どもを育てられる」と感じています。 ・ この街では、デジタル技術を活用することがより自然なこととされていて、オンラインのサービス（見守りや買い物支援、オンライン診療など）が日常生活に溶け込んでいて、住民が孤立せずに暮らせる環境が整っています。 ・ この街では、住む人同士が自然に助け合い、世代を超えてコミュニケーションを保っていて、住んでいることに対して心地よさを共有しています。 ・ 人口減少と高齢化は避けられない現実であり、その中で「どうしたら暮らしの質を高めることができるか」と考えると、人々が生活するエリアを広く定義せず、小さなエリア毎に生活に必要な機能を適度に集約し、移動に無理のないコンパクトな生活圏をつくるのが良いと思います。移動距離が短く、安全に移動できる街は、どの世代にとってもやさしい街です。 ・ 高齢者の経験や知恵を活かすことにより、地域の担い手不足を補うことができ、誰もが役割を持って地域に関わるのが、街の活力を生むと考えます。高齢者に参加していただけるような働きかけや、世代を超えた交流機会が生まれるような働きかけることが必要だと考えます。 ・ 情報はすべての人には容易には届きません。やさしい街を作っていただく人たちにどうしたら役に立つ情報が届くかを考えていく必要があります。 ・ 子育て世帯が住みやすい街は、結果として高齢者にもやさしい街になります。 ・ 空き家や空き地を放置すると、街が衰退する原因となります。街の衰退を象徴する存在を減らし、地域の人が集まれる場所が増えれば、人々の孤立が減り、助け合いが生まれる可能性があります。（空き家や空き地を減らすことは、利害関係や、人間関係があり容易なことではないとは理解しています。） ・ 人手不足が進む社会でも、安心して暮らせる仕組みを維持する必要があります。人が多くいたときに行っていた活動のうち、本当に必要な活動を人が減った状態でどうしたら補完することができるかを検討する必要があります。しかし、デジタル技術は人と人との表情が見える会話でのコミュニティレベルには及ばないだけでなく、誤解を生み、争いの原因となる危険性を持っていることは認識しておく必要があります。